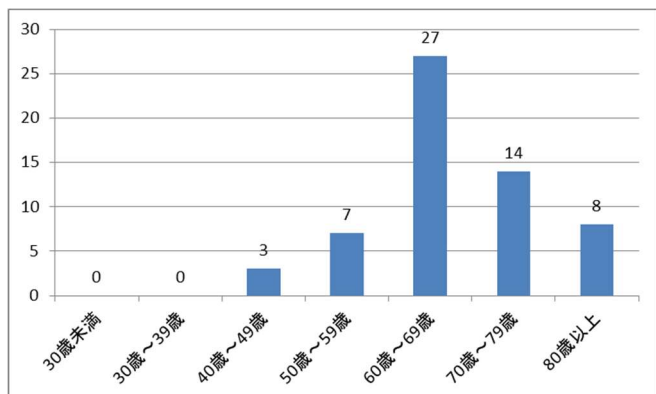
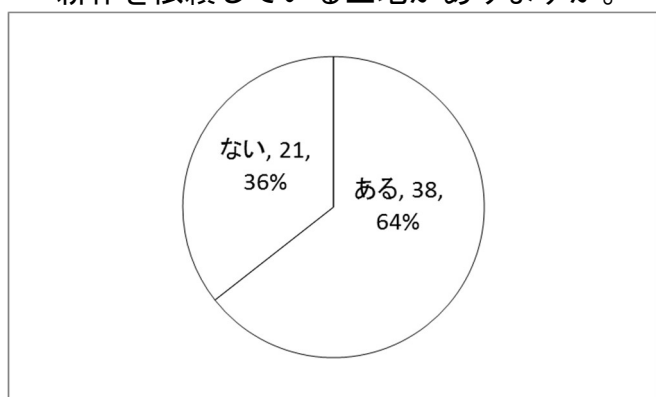


袋井北地区

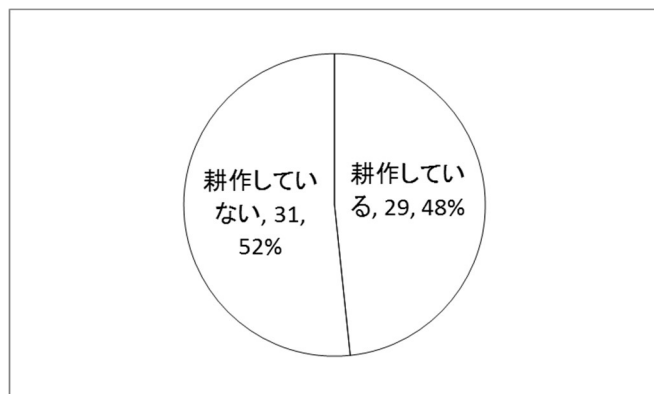
回答年齢



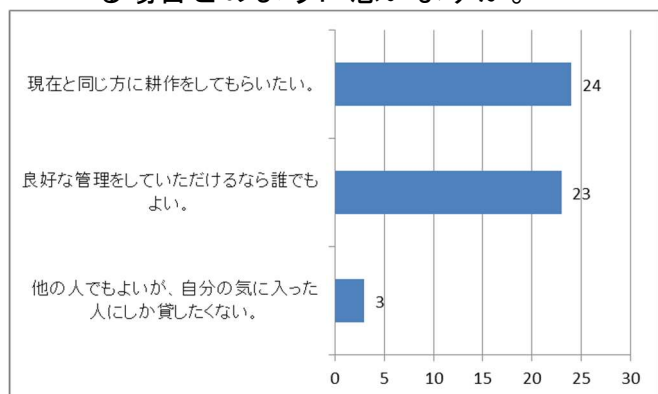
Q2-1 所有農地について
耕作を依頼している土地がありますか。



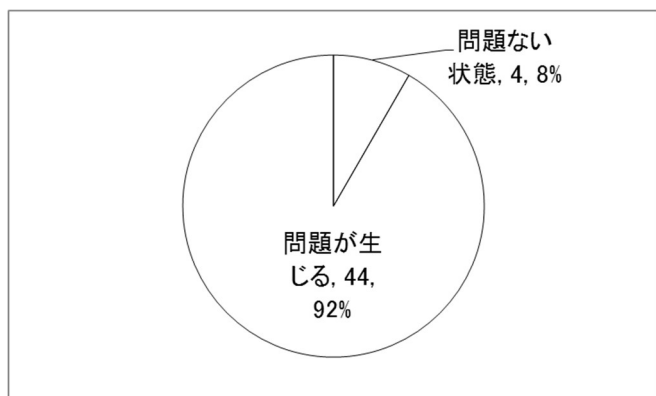
Q1 ご自身の営農状況について
現在、ご自身で耕作していますか。



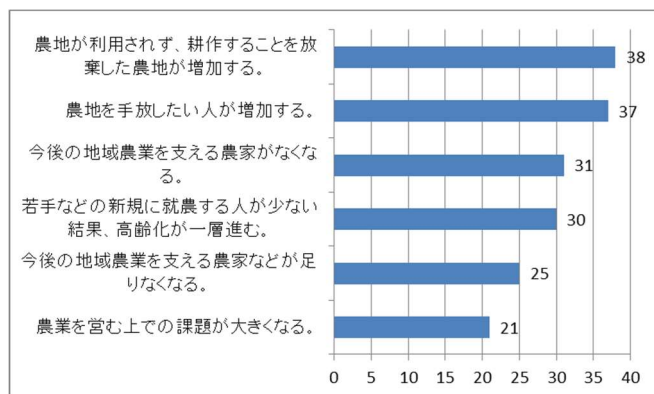
Q2-2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。



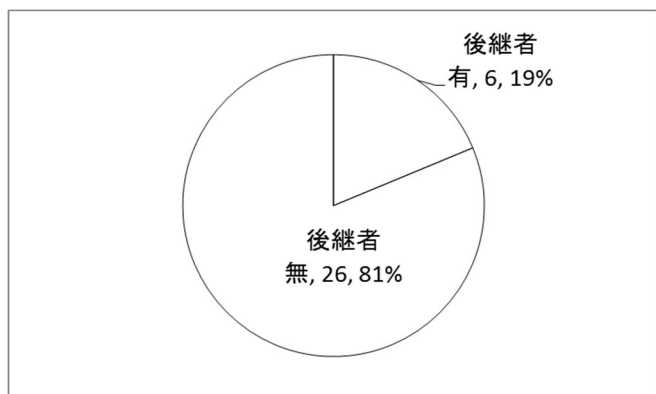
Q5-1 あなたの地域の農業（人と農地）は10年後にどのようになっていると思われますか。



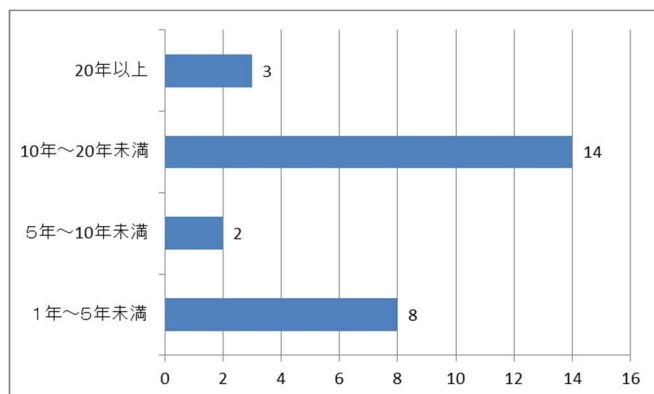
Q5-2 問題と思われる課題



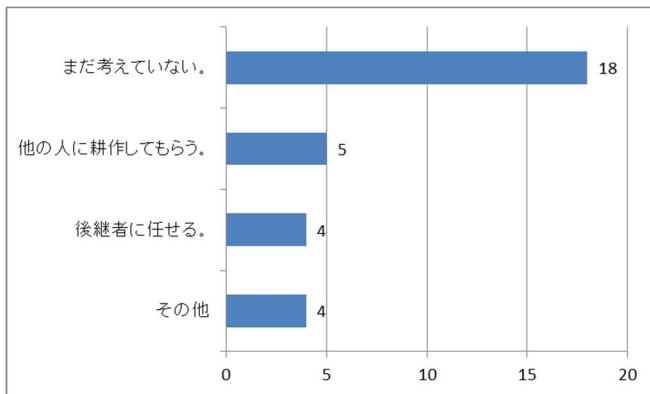
Q7-1 後継者の有無



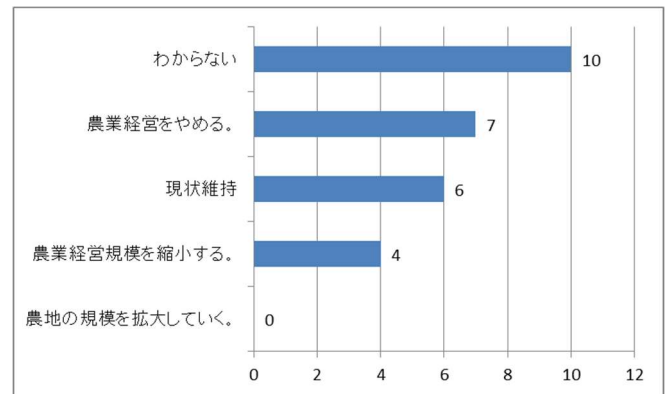
Q7-2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。



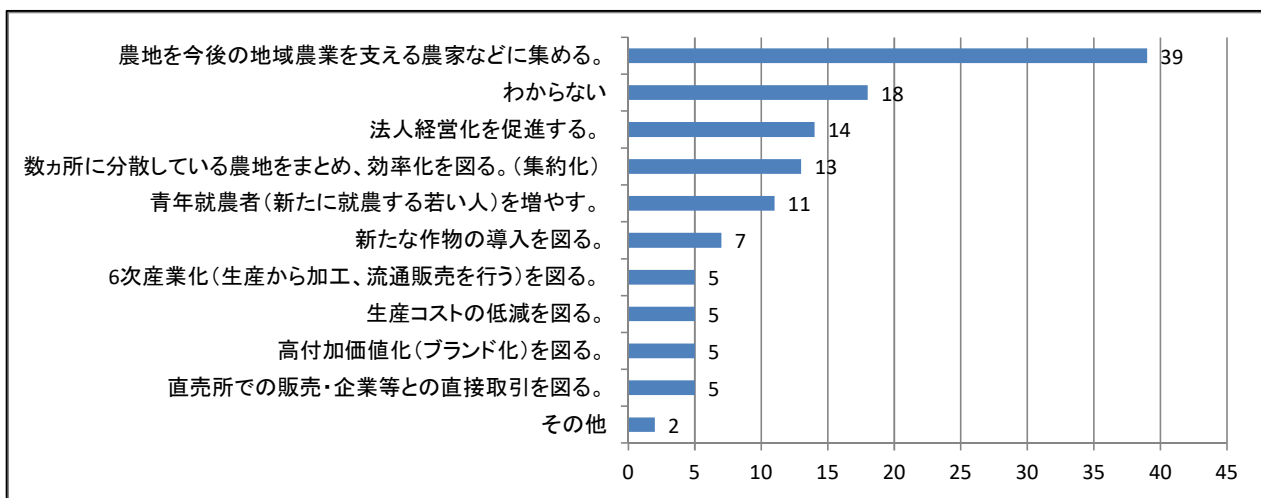
Q7-3 今後、耕作を続けられなくなった場合どうしますか。



Q9 今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。



Q10 今後の（10年後）の地域農業について、どのような取り組みを行い、発展させていく必要があると思いますか。



袋井北地区農業推進委員会 アンケート結果

【対象者】 108人

【回答者】 61人

【耕作地区】 鷺巣地区 28人 堀越地区 7人 山科地区 9人
久能地区 5人 その他 12人

【性別】 男性 57人 女性 3人

【職業】 専業農業者 17人 兼業農業者 20人
農業以外 20人

【年齢】 30歳未満 0人 30歳～39歳 0人 40歳～49歳 3人
50歳～59歳 7人 60歳～69歳 27人 70歳～79歳 14人
80歳以上 8人

【耕作面積】 ①自分で耕作していない 29人
②3,000㎡未満 15人 ③3,000㎡～10,000㎡未満 9人
④10,000㎡～100,000㎡未満 3人 ⑤100,000㎡以上 3人

【設問1】ご自身の営農状況について

1 現在、ご自身で耕作していますか。

耕作している 29人 耕作していない 31人

【設問2】所有農地について

1 耕作を依頼している土地がありますか。

ある 38人 ない 21人

2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。

① 現在と同じ方に耕作をしてもらいたい。 24人

② 他の人でもよいが、自分の気に入った人にしか貸したくない。 3人

③ 良好な管理をしていただければ誰でもよい。 23人

【設問3】 今後、所有している農地について、どのように考えておられますか。(未耕作者)

- ① 今後も農地として、耕作してもらおう。 23人
- ② 農地以外の用途に利用していく。 7人
- ③ その他 5人

【設問4】 集約化に向けた課題 地域内で年貢、小作料の統一が必要か

- ① 統一すべき (例 10a 当たり 10,000 円) 19人
- ② 農地等の条件が違うため、統一はできない。 30人
- ③ その他 3人

【設問5】 あなたの地域の農業 (人と農地) は 10 年後にどのようになっていると思いますか。

- 1 問題ない状態 (各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている) 4人
- 2 問題が生じる。 44人

(問題と思われる課題を回答してください[複数回答可])

- ① 農地が利用されず、耕作することを放棄した農地が増加する。 38人
- ② 今後の地域農業を支える農家がなくなる。 31人
- ③ 今後の地域農業を支える農家などが足りなくなる。 25人
- ④ 若手などの新規に就農する人が少ない結果、高齢化が一層進む。 30人
- ⑤ 農地を手放したい人が増加する。 37人
- ⑥ 農業を営む上での課題が大きくなる。(例：近隣からの苦情等) 21人

【設問6】 耕作することが困難となった場合 貸出方法 (複数回答可)】 農地を貸し出すことになった場合について、どのような方法が良いと考えていますか。

- ① 貸し手と借り手相対で行う。(利用権設定事業) 30人
- ② 農地中間管理機構が仲介して行う。(農地中間管理事業) 31人

【設問7】 耕作している方にお聞きします。現在、後継者の目処はついていますか。

1 後継者の有無

- ① 有 6人
- ② 無 26人

2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。

- 1年～5年未満 8人
- 5年～10年未満 2人
- 10年～20年未満 14人
- 20年以上 3人

3 今後、耕作を続けられなくなった場合はどうしますか。

- ① 後継者に任せる。 4人
- ② 他の人に耕作してもらおう。 5人
- ③ まだ考えていない。 18人
- ④ その他 4人

【設問8】 耕作している方にお聞きいたします。

現在、あなた自身の経営は、地域の中でどういう位置づけだと思えますか。

- ① 地域の中心となる農家であり、今後も中心になると思う。 0人
- ② 地域の中心となる農家であるが、将来的には中心にならないと思う。 6人
- ③ 今は地域の中心となる農家ではないが、将来的には目指していく考え。 1人
- ④ 今は地域の中心となる農家ではなく、将来的にも考えていない。 22人

【設問9】 耕作している方にお聞きします。

今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。

- ① 農地の規模を拡大していく。 0人
- ② 現状維持 6人
- ③ 農業経営規模を縮小する。 4人
- ④ 農業経営をやめる。 7人

⑤ わからない。 10人

Q9で規模を縮小する又は農業経営をやめると答えた方にお聞きします。

① 農地は今後も（貸すなど）農地として残していきたい。 4人

② 農地以外の用途で活用したい。 9人

【設問10】 今後の（10年後）地域農業について、どのような取組を行い、発展させていく必要があると思いますか。 [複数回答可]

① 農地を今後の地域農業を支える農家などに集める。 39人

② 数ヵ所に分散している農地をまとめ、効率化を図る。 13人

③ 生産コストの低減を図る。 5人

④ 新たな作物の導入を図る。 7人

⑤ 直売所での販売・企業等との直接取引を図る。 5人

⑥ 6次産業化（生産から加工、流通販売を行う）を図る。 5人

⑦ 高付加価値化（ブランド化）を図る。 5人

⑧ 青年就農者（新たに就農する若い人）を増やす。 11人

⑨ 法人経営化を促進する。 14人

⑩ その他 2人

⑪ わからない。 18人

◎ご意見等

- ・農地所有者と大規模耕作者の仲介を活性化
- ・特産品のアピールをして、若者に希望を与えて欲しい
- ・所有の土地はすべて休耕田
- ・農業は続けられない
- ・基盤整備ほ場の良い土地は集団化か大型農家等に貸す
- ・青地を白地にできないと土地利用が難しい
- ・借地人の路上駐車
- ・住居の増加で農業がやりにくくなる。 後継者不足
- ・農業従事には、生活安定基盤が必要。
- ・使用貸借ではなく、耕作依頼している
- ・休耕地の開発、若い人達を増やす
- ・農業法人にして農地再生
- ・集約化の要説明

◎その他意見等

- ・地盤が軟弱で、獣害も多発している。
- ・今後の農地の維持管理が不安
- ・ガラス温室等の固定資産税の減税を考慮して欲しい
- ・農地の譲渡の活性化策の検討
- ・食料自給率を上げる
- ・メロン農家が減り、その土地の
- ・再利用に困っている
- ・最良の土地利用を提案して欲しい
- ・役所等で販売先を紹介し、生産できるようにして欲しい
- ・自給農産物生産の奨励・農産物の直販や学校給食などに活用
- ・集約化の必要性が分からない
- ・学校・農業団体・部農会等の連携を密にすることが大切
- ・新たな健康野菜等の作物方法を考慮
- ・貸人による所有地の買上げ希望